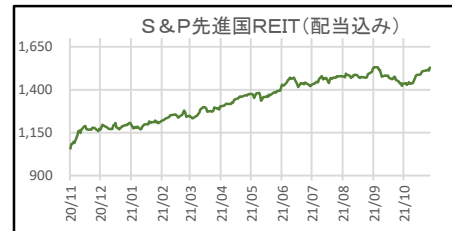
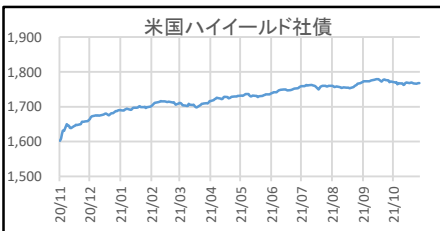
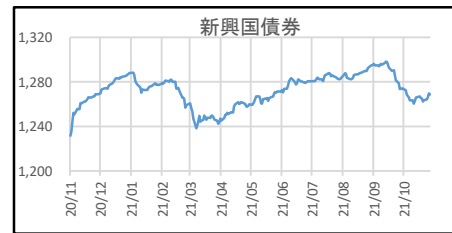
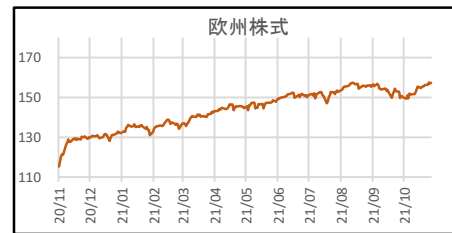
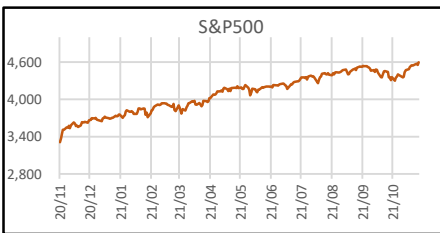
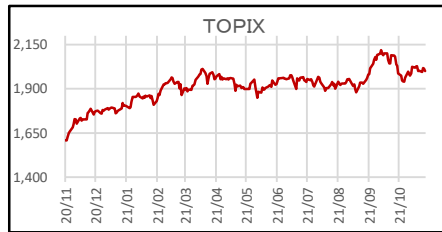
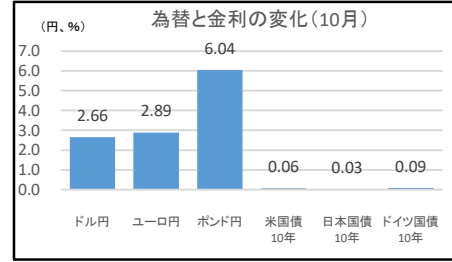
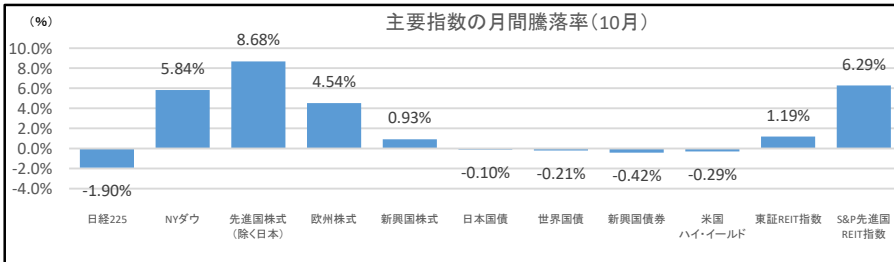


**PWMマーケットレポート**

10月の米国株式市場では、上旬には共和党が連邦債務上限の短期的な引上げに賛成する姿勢を示したことで米国債のデフォルト懸念が後退したことを受けて反発しました。中旬には原油高によるインフレ懸念などから下落しましたが、長期金利の低下を受けてハイテク株が堅調であったこと、予想を上回る小売売上高や好調な7-9月期の企業決算が好感されたこと、新型コロナの感染者数が減少傾向にあることで経済活動の再開が広がり、景気回復期待が高まったことなどにより上昇しました。下旬には中国不動産大手の破綻懸念がいったん後退したこと、10月の消費者信頼感指数が改善したこと、インフラ投資法案への期待が高まったことなどが追い風となり、引き続き堅調な展開となりました。主要な株価指数は過去最高値を更新し、NYダウは、35,819.56(前月比+5.84%、以下同じ)となりました。日本株式市場は、岸田新政権による金融所得課税の動向により変動しました。また、円安や堅調な米国株式に支えられたものの、衆議院選挙の投票票を控え不透明感などにより下落し、結局日経225は、28,892.69(▲1.90%)、欧州株式は157.41(+4.54%)、新興国株式は1,264.75(+0.93%)となりました。米国長期金利は、年内のテーパリング開始やインフレ懸念が意識され大きく上昇しましたが、米連邦準備制度理事会(FRB)が金融政策の正常化を前倒しするとの観測が強まり、中短期債を売って長期債を買う取引が増えたことなどから利回りは低下し、結局1.55%(+0.06ポイント)となりました。日本長期金利は、0.10%(+0.03)、ドイツ長期金利は、▲0.11%(+0.09ポイント)となりました。外国為替市場は、投資家のリスク選好姿勢が強まる中、低リスク通貨とみなされている円が売られ円安傾向となり、113円95銭(+2円66銭)、ユーロ円は131円77銭(+2円89銭)、ポンド円は155円99銭(+6円04銭)となりました。



## 投資信託の手数料等およびリスクについて

投資信託のお申込みにあたっては、お申込み金額に対して最大3.85% (税込み) の購入時手数料をいただきます。また、換金時に直接ご負担いただく費用として、換金時の基準価額に対して最大0.5%の信託財産留保額をご負担いただく場合があります。投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用として、国内投資信託の場合には、信託財産の純資産総額に対する運用管理費用 (信託報酬) (最大2.42% (税込み・年率)) のほか、運用成績に応じた成功報酬をご負担いただく場合があります。また、その他の費用を間接的にご負担いただく場合があります。外国投資信託の場合も同様に、運用会社報酬等の名目で、保有期間中に間接的にご負担いただく費用があります。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。従って損失が生じるおそれがあります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。また、上記記載の手数料等の費用の最大値は今後変更される場合がありますので、ご投資にあたっては目論見書や契約締結前交付書面をよくお読みください。

## 金融商品仲介業者の概要

IFAが所属する金融商品仲介業者の「広告等補完書面」をご確認ください。

## 金融商品取引業者の概要

商号等	PWM日本証券株式会社関東財務局長 (金商) 第50号
本店所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目14番1号 兼松ビルディング 9階
加入協会	日本証券業協会 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
苦情相談窓口	法務・コンプライアンス部 電話:03-3561-4104
指定紛争解決機関	特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター (FINMAC:フィンマック) 電話:0120-64-5005 平日9:00~17:00 (除く土日祝日)
資本金	30億円
主な事業	金融商品取引業
設立年月	平成11年4月
電話番号	03-3561-4100 (代表)

当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料に示されたコメント等は、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資信託は組入価証券等の価格の下落や組入価証券等の発行会社の経営・財務状況の悪化等により、基準価額が下落し、投資元本を割り込むことがあります。また、過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。ご投資を頂く際は、事前に目論見書、契約締結前交付書面等の内容を必ずご確認ください。本資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証・約束するものではありません。

TOPIX (東証株価指数)、東証REIT指数は株式会社東京証券取引所 (東証) が算出・公表する株価指数で、東証が著作権等を有します。日経平均株価は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、著作権その他一切の知的財産権を同社が有しています。ダウ工業株30種平均、S&P500指数、S&P先進国REIT (配当込み) は、スタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシズ・エル・エル・シーが所有する登録商標です。MSCIコクサイ、MSCIエマージング株式に対する著作権およびその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。ダイワ・ボンド・インデックスに関する著作権等知的財産権は大和証券株式会社および株式会社大和総研に帰属します。FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、London Stock Exchange Groupに帰属します。CS High Yield Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、Credit Suisseに帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。